

# 認知症診断助成制度の実施状況

## ① 認知症診断助成制度

### ○ 認知機能検診（第1段階）

【受診状況（令和2年7月末まで）】

	総数	疑いあり	疑いなし
受診者数	<b>27,468</b>	6,928 (25.2%)	20,540 (74.8%)

**37,920**（令和3年1月末速報値）

【受診券発送状況（令和3年1月末まで）】

	総数
申込み	<b>15,478</b>
75歳以上全員	<b>220,236</b>
75歳到達者	<b>13,797</b>
合計	<b>249,511</b>

令和元年度分  
令和2年度分

«令和元年度 75歳以上受診券送付»  
 第1期（4～6月生まれ） 43,413人（7/12発送）  
 第2期（7～9月生まれ） 50,535人（10/11発送）  
 第3期（10～12月生まれ） 52,112人（1/10発送）  
 第4期（1～3月生まれ） 74,176人（6/26発送）  
 «令和2年度 75歳到達者受診券送付»  
 一斉送付 13,797人（8/21発送）

### «新型コロナウイルスの影響»

- ・ 検診中止期間  
4月14日～5月28日
- ・ 受診者数の推移（8月以降は速報値）

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2,551	2,358	1,218	336	76	1,268	4,251	2,601	2,889	2,267	1,196	901	598

### ○ 認知機能精密検査（第2段階）

【受診状況（令和2年7月末まで）】

	総数	認知症	M C I	認知症でない
受診者数	<b>4,947</b>	2,854 (57.7%)	1,312 (26.5%)	781 (15.8%)

**7,095**（令和3年1月末速報値）

### ○ 実施医療機関数（令和3年2月現在）

- 認知機能検診（第1段階） **452箇所**（制度開始時：326箇所）
- 認知機能精密検査（第2段階） **75箇所**（制度開始時：53箇所）

## ② 認知症事故救済制度

### ○ 支給状況（令和3年2月末まで）

	見舞金	賠償責任保険	計
支給件数	5件	6件	<b>11件</b>

### ○ 加入者数（令和3年1月末まで）

	賠償責任保険	G P S
加入者数	<b>5,949人</b>	<b>147人</b>

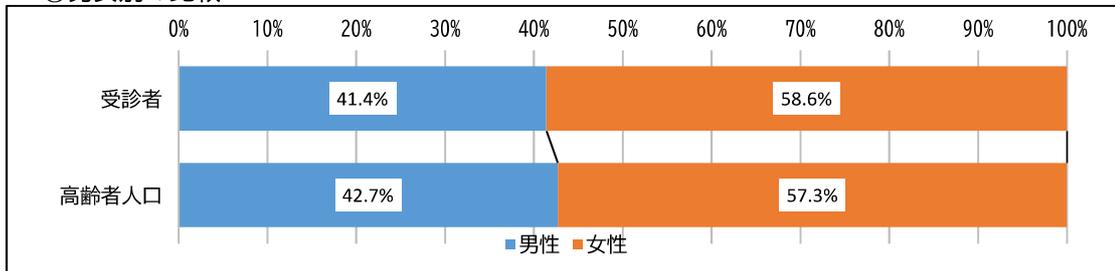
■認知機能検診（第1段階）

(1) 受診者の属性

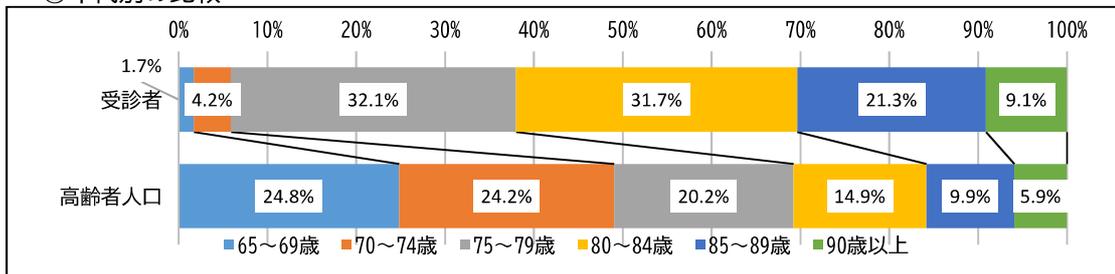
	受診者			高齢者人口
	全体	男性	女性	
総数	27,468	11,379	16,089	427,945
年代別				
65～69歳	472	224	248	106,318
70～74歳	1,150	454	696	103,563
75～79歳	8,814	4,032	4,782	86,455
80～84歳	8,694	3,587	5,107	63,923
85～89歳	5,843	2,233	3,610	42,421
90歳以上	2,495	849	1,646	25,276
(再掲) 前期高齢者	1,622	678	944	209,881
(再掲) 後期高齢者	25,846	10,701	15,145	218,075
居住区別				
東灘区	3,532	1,416	2,116	51,729
灘区	2,286	840	1,446	34,098
中央区	2,089	768	1,321	32,479
兵庫区	1,969	743	1,226	31,418
北区	3,890	1,784	2,106	65,661
長田区	2,198	792	1,406	32,706
須磨区	3,135	1,358	1,777	51,368
垂水区	4,425	1,882	2,543	65,217
西区	3,944	1,796	2,148	63,280

【全市高齢者人口との比較】

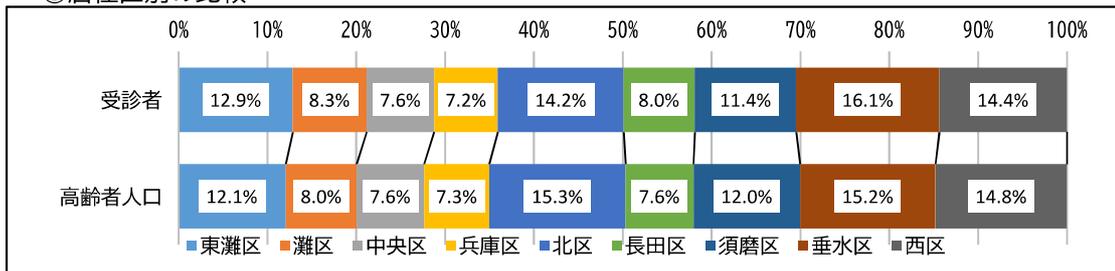
①男女別の比較



②年代別の比較



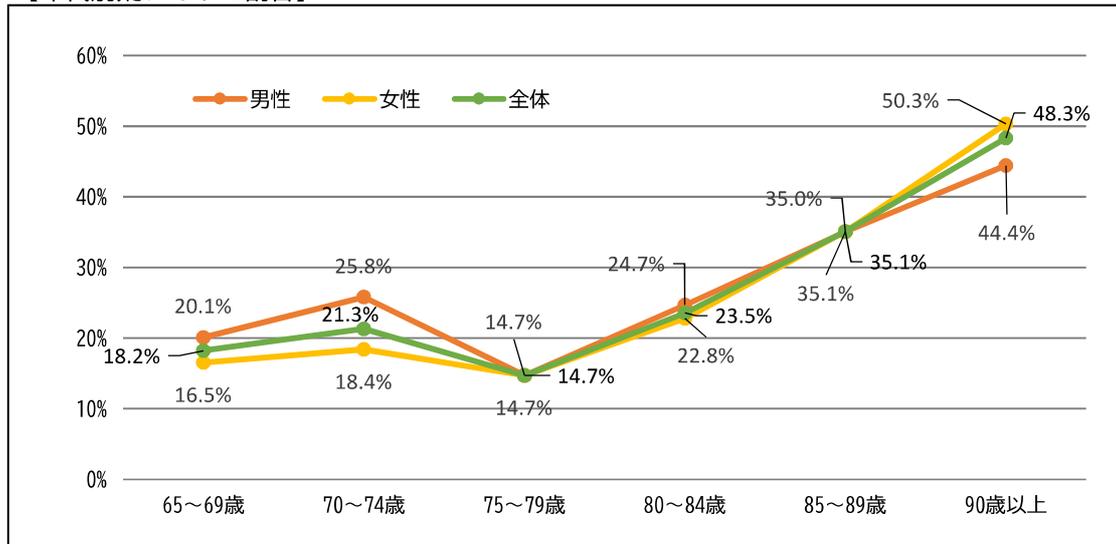
③居住区別の比較



(2) 検診の結果

	全体	疑いあり		疑いなし	
総数	27,468	6,928	25.2%	20,540	74.8%
65～69歳	472	86	18.2%	386	81.8%
70～74歳	1,150	245	21.3%	905	78.7%
75～79歳	8,814	1,296	14.7%	7,518	85.3%
80～84歳	8,694	2,047	23.5%	6,647	76.5%
85～89歳	5,843	2,049	35.1%	3,794	64.9%
90歳以上	2,495	1,205	48.3%	1,290	51.7%
(再掲) 前期高齢者	1,622	331	20.4%	1,291	79.6%
後期高齢者	25,846	6,597	25.5%	19,249	74.5%
男性	11,379	2,799	24.6%	8,580	75.4%
65～69歳	224	45	20.1%	179	79.9%
70～74歳	454	117	25.8%	337	74.2%
75～79歳	4,032	593	14.7%	3,439	85.3%
80～84歳	3,587	885	24.7%	2,702	75.3%
85～89歳	2,233	782	35.0%	1,451	65.0%
90歳以上	849	377	44.4%	472	55.6%
(再掲) 前期高齢者	678	162	23.9%	516	76.1%
後期高齢者	10,701	2,637	24.6%	8,064	75.4%
女性	16,089	4,129	25.7%	11,960	74.3%
65～69歳	248	41	16.5%	207	83.5%
70～74歳	696	128	18.4%	568	81.6%
75～79歳	4,782	703	14.7%	4,079	85.3%
80～84歳	5,107	1,162	22.8%	3,945	77.2%
85～89歳	3,610	1,267	35.1%	2,343	64.9%
90歳以上	1,646	828	50.3%	818	49.7%
(再掲) 前期高齢者	944	169	17.9%	775	82.1%
後期高齢者	15,145	3,960	26.1%	11,185	73.9%

【年代別疑いありの割合】

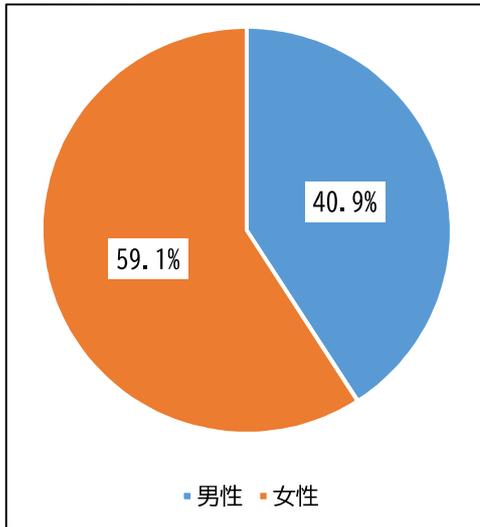


■認知機能精密検査（第2段階）

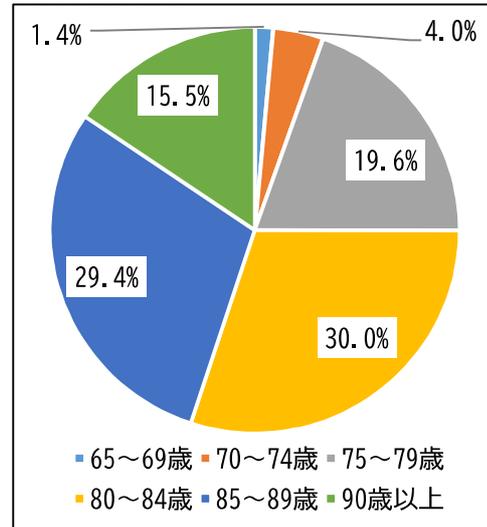
（1）受診者の属性

	受診者			高齢者人口
	全体	男性	女性	
総数	4,947	2,023	2,924	427,945
年代別				
65～69歳	71	40	31	106,318
70～74歳	196	94	102	103,563
75～79歳	971	448	523	86,455
80～84歳	1,486	631	855	63,923
85～89歳	1,454	566	888	42,421
90歳以上	769	244	525	25,276
(再掲) 前期高齢者	267	134	133	209,881
(再掲) 後期高齢者	4,680	1,889	2,791	218,075

【男女内訳】



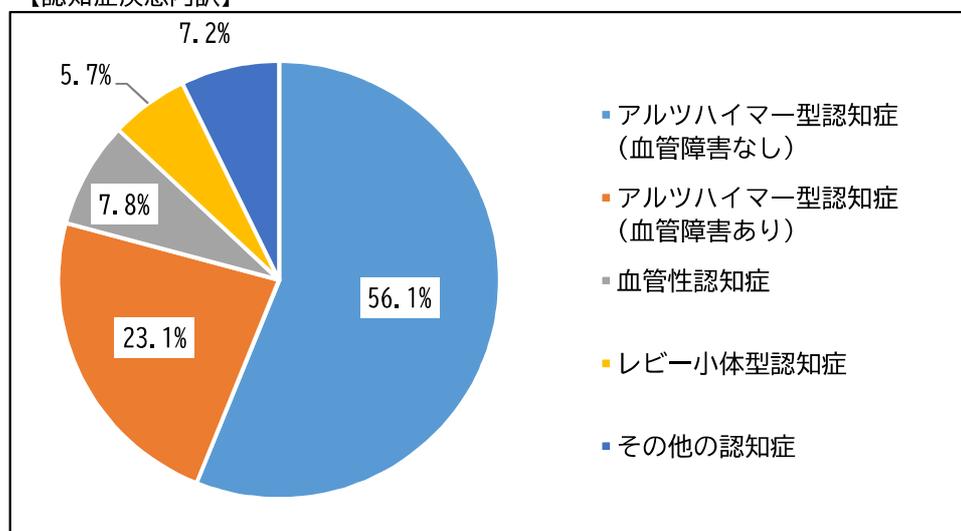
【年代別内訳】



(2) 精密検査の結果

	全体	認知症	MCI(軽度認知障害)	認知症でない
総数	4,947	2,854	57.7%	1,312
65～69歳	71	36	50.7%	16
70～74歳	196	96	49.0%	59
75～79歳	971	465	47.9%	290
80～84歳	1,486	824	55.5%	440
85～89歳	1,454	902	62.0%	369
90歳以上	769	531	69.1%	138
(再掲) 前期高齢者	267	132	49.4%	75
後期高齢者	4,680	2,722	58.2%	1,237
男性	2,023	1,114	55.1%	568
65～69歳	40	23	57.5%	8
70～74歳	94	47	50.0%	26
75～79歳	448	201	44.9%	142
80～84歳	631	326	51.7%	203
85～89歳	566	349	61.7%	139
90歳以上	244	168	68.9%	50
(再掲) 前期高齢者	134	70	52.2%	34
後期高齢者	1,889	1,044	55.3%	534
女性	2,924	1,740	59.5%	744
65～69歳	31	13	41.9%	8
70～74歳	102	49	48.0%	33
75～79歳	523	264	50.5%	148
80～84歳	855	498	58.2%	237
85～89歳	888	553	62.3%	230
90歳以上	525	363	69.1%	88
(再掲) 前期高齢者	133	62	46.6%	41
後期高齢者	2,791	1,678	60.1%	703

【認知症疾患内訳】





■事故救済制度の支給状況

(令和元年度 支給実績)

	給付の種類別	事案発生日	給付金額	事案の概要
事案1	給付金 (財物損壊給付金)	H31. 4. 25	15,932円	他人の所有する自転車を自宅へ持ち帰ってしまい、その自転車に損傷を与えた。
事案2	賠償責任保険	R元. 5. 16	138,632円	飲食店で食事中に座席を汚損した(飲食店は法人)。 ※支給対象者が法人のため見舞金の給付対象外。このため、賠償責任保険のみを支給
事案3	給付金 (財物損壊給付金)	R元. 6. 1	9,720円	自宅で着替え中にバランスを崩して転倒し、室内のガラス扉の下半分を割った。 ※自宅の登記上所有者は認知症の方の家族

(令和2年度 支給実績 ※令和3年2月時点)

	給付の種類別	事案発生日	給付金額	事案の概要
事案4	賠償責任保険	R 2. 1月末頃	19,800円	通っているデイサービス施設内のカーテンレールを掴んで下に引っ張り、壊した。 ※支給対象者が法人のため見舞金の給付対象外。このため、賠償責任保険のみを支給
事案5	賠償責任保険	R 2. 3. 7	286,000円	水漏れをおこし、下の階の天井や壁紙に損傷を与えた。 ※支給対象者が法人のため見舞金の給付対象外。このため、賠償責任保険のみを支給(建物の所有者は法人) ※下の階の住人の財物に損害なし。
事案6	給付金 (財物損壊給付金)	R元年度	35,805円	≪詳細は非公表≫
事案7	給付金 (財物損壊給付金)	R 2. 2月頃	10,000円	他人の所有する靴を持ち帰り、汚損した。
事案8	賠償責任保険	R 2. 10. 29	14,300円	入院中にベッドのナースコールを破損した。
事案9	賠償責任保険	R 2. 8. 2	605,000円	トイレを紙でつまらせ、下の階まで汚水が漏水。階下のキッチン設備やトイレのクロス等が汚水で濡れて使用できなくなった。
事案10	給付金 (財物損壊給付金)	R元. 9月頃	36,300円	隣の家の壁を鍵で傷つけた。
事案11	賠償責任保険	R 3. 1. 9	134,530円	他人宅の鉄の門扉の取っ手(握り)を損壊した。

給付金	物損5件	107,757円
賠償責任保険	物損6件	1,198,262円
計	物損11件	1,306,019円

■その他

(1) 事業費

(単位：千円)

	H30	R元	R2	R3	計
診断助成制度	42,260	200,560	197,886	157,935	598,641

※H30、R元は決算額、R2、R3は予算額

※第1段階の検診料は6,620円、第2段階の自己負担分の助成金は平均で約7,500円

(2) 他都市の状況（政令指定都市のうち医療機関で個別実施している都市）

都市名 (高齢者人口)	神戸市 (431,072人)	横浜市 (920,962人)	名古屋市 (573,391人)	さいたま市 (302,798人)
制度開始	平成31年1月	令和2年1月 (4/1～8/27除く)	令和2年1月	平成28年8月
第1段階の 検査ツール	①HDS-R ②DASC-21 ③独自の問診票 (BPSDチェック) ※上記をもとに医 師が診察し判断	①HDS-R ②DASC-21	①HDS-R ②DASC-21	①浦上式 ②BPSD検査
第2段階の 受診勧奨	紹介状（結果及 び基礎疾患・投 薬内容等を記 載）を交付して 受診を勧奨	受診を勧奨（紹 介状は別途必 要・有料） ※未受診者には郵 送で受診勧奨	受診を勧奨（結 果通知書等を 持参し受診）	受診を勧奨（紹 介状は別途必 要・有料）
第2段階の 助成	あり（検査費用 全額）	なし	なし	なし
実施医療機 関数	第1段階：452箇所 第2段階：75箇所	第1段階：82箇所 第2段階：29箇所 (R元年度)	第1段階：522箇所 第2段階：50箇所	第1段階：234箇所 第2段階：45箇所
受診者数	第1段階：37,920人 第2段階：7,095人 (H31.1～R3.1)	第1段階相当 1,090人 (R元年度)	第1段階相当 8,318人 (R2.1～11)	第1段階相当 1,088人 (R元年度)

(3) 国の動向等

- ・「認知症施策推進大綱」を策定（令和元年6月）。

※大綱に記述「いくつかの自治体において、早期診断の促進や行方不明時の捜索等と併せて、認知症の人の事故を補償する民間保険への加入を支援する取組が始まっている。これらの取組みについて事例を収集し、政策効果の分析を行う。」

- ・認知症基本法案

令和元年6月国会に上程。審議中。

<国への要望>

- ・早期診断のための認知機能検診にかかる財政支援
- ・認知症の人が起こした事故に対する救済制度の創設及び認知症予防施策の充実